

平成 28 年 4 月 18 日
九州地方整備局
21 時 30 分 現在

国道 57 号の応急復旧に向けた作業に着手。整備局所有船により飲料水を提供。

～ 平成 28 年熊本地震に関する九州地方整備局の取り組み (第 19 報) ～

1. 概要

○国道 57 号 (阿蘇大橋地区斜面崩壊) の応急復旧に向けた作業に着手しました。

○熊本港内では、九州地方整備局所有船「海輝」と「海煌」による飲料水の提供を 21 時まで行いました。

4 月 18 日 (月) 17 時時点の提供人数は約 1,300 人 (26,400 L) です。
明日、4 月 19 日 (火) も午前 7 時より継続して提供します。

2. 本部体制状況

- 災害対策本部 4 月 14 日 21 時 26 分～ 非常体制継続中
- 災害等支援本部 4 月 17 日 9 時 00 分～ 非常体制

3. 災害支援等対応状況について

(1) リエゾン派遣状況<震度 6 強以上を中心>

・ 22 市町村：31 名

・ 15 市町村：28 名 (18 日 18 時 00 分時点)

【熊本県：3】、【熊本市：2】、【益城町：3】、【御船町：2】、【嘉島町：2】、

【西原村：2】、【大分県：2】、【大津町：1】、【菊池市：1】、【宇土市：2】、

【阿蘇市：2】、【高森町：2】、【菊陽町：1】、【南阿蘇村：2】、【甲佐町：1】

※撤収 【産山村 4/18】、【合志市・宇城市・日田市 4/17】、【和水市・八代市・大分市 4/16】

(2) TEC-FORCE 派遣対応状況

・ TEC-FORCE：合計 176 人 (18 日 17 時 00 分時点)

【熊本県】活動内容：橋梁等点検調査 1 班 5 人

【熊本市】活動内容：橋梁等点検調査 3 班 14 人

【益城町】活動内容：橋梁点検及び道路・河川被災等調査 8 班 37 人

【嘉島町】活動内容：道路被災等機械支援 1 班 2 人

【御船町】活動内容：道路点検等調査終了 0 人

【西原村】被災状況調査 2 班 8 人

【大津町】被災状況調査 3 班 11 人

【菊池市】道路被災調査 2 班 8 人

【阿蘇市】迂回路調査及び被災状況調査 6 班 22 人

【南阿蘇村】被災状況調査 8 班 35 人

【宇土市】被災状況調査 1 班 4 人

【熊本港湾】被災状況調査 2 班 8 人

【本局 TEC 指令室】 22 人

※うち、他地整応援状況（TEC司令部含む）

関東地整	益城町被災状況調査ほか	4班18人
中部地整	西原村被災状況調査ほか	3班15人
北陸地整	大津町被災状況調査ほか	3班15人
近畿地整	菊池市被災状況調査ほか	4班19人
中国地整	阿蘇市被災状況調査ほか	3班16人
四国地整	南阿蘇村被災状況道路調査ほか	3班16人

4. 防災ヘリの活動状況（4月18日17時00分時点）

- はるかぜ号 4/16 被災状況調査 4名（整備局2名・国総研1名・土研1名）
8:31～10:06、13:57～16:29
4/17 南阿蘇村被災状況把握（整備局1名）
9:09～11:37、13:02～15:08
4/18 垂直撮影による被災状況調査
10:34～12:28
- 愛らんど号 4/16 被災状況調査 11:30～14:15 被災状況調査
4/17 被災状況調査 5名（整備局1名・本省1名・国総研1名・土研2名）
11:15～12:58、15:10～16:05
4/18 道路調査4名（整備局1名・土研3名）
8:35～10:10、14:00～16:55
- ほくりく号 4/16 被災状況調査 5名（整備局1名・本省1名・国総研1名・土研2名）
11:02～17:15
4/17 被災状況調査 16:39～17:55
4/18 砂防調査 3名
8:22～18:20

5. ドローン活動状況

- ・TEC-FORCE協定業者とドローンによる上空調査を実施。
【南阿蘇村】被災状況上空調査 2班8人

6. 災害対策機器現地派遣状況（18日17時00分）

- 照明車 35台（役場、被災現場等25台）
- ・市町村支援（役場：嘉島、大津、益城、南阿蘇2、宇土市） 計6台
 - ・運動公園等（益城総合、熊本県民総合、グランメッセ） 計6台
 - ・被災復旧現場等（57号法面復旧現場・緑川堤防復旧） 計12台
 - ・加勢川右岸 9K800 1台
 - ・九州技術待機 6台
 - ・近畿地整より移動中 4台
- ※上記台数の内、他地整より応援照明車（近畿地整 7台、中国地整 9台）
- 生活用水等 4台（熊本河川国道事務所3台、九重町1台）
- ・散水車（給水移動中） 3台（移動中）
 - ・排水管清掃車（九重町） 1台
- 排水ポンプ車 3台
- ・九州技術 3台 撤収
- バックホウ 3台（R57法面崩壊現場）
- ・ロボQ（待機中：R57法面崩壊現場） 1台
 - ・遠隔BH（待機中：R57法面崩壊現場） 1台
 - ・分組BH（待機中：R57法面崩壊現場） 1台
- その他 4台（グランメッセ熊本）
- ・情報収集車（稼働中：南阿蘇村） 1台

- ・待機支援車（稼働中：阿蘇ミルクロード） 1台
- ・対策本部車（稼働中：グランメッセ） 1台
- ・橋梁点検車（稼働中：熊本市土木センター） 1台

7. 防災通信機器派遣状況（18日17時00分）

○衛星通信車 4台派遣 内4台映像配信中

- ・益城町役場 1台（映像配信中）
- ・益城町木山 国道443号 1台（映像配信中）
- ・阿蘇郡南阿蘇村 国道57号 1台（映像配信中）
- ・南阿蘇村役場 1台（映像配信中）

※19日以降、近畿地整、中部地整の衛星通信車と入れ替えて運用予定。（詳細場所等は検討中）

○Ku-SAT 3台派遣

- ・南阿蘇村役場 1台（待機中）
- ・グランメッセ 2台（待機中）

8. リエゾンによる被災自治体からの要望等への対応状況（18日15:00）

水、毛布、燃料、被災調査・施設点検の支援、復旧の支援、災害対策用の配備等多 種多様

○被災地の調査等：上述の4, 5, 6, 7, 8のとおり。

○物資支援

- ・4月17日までの支援物資
飲料水2L×6,880本、カンパン等9,300食 ブルーシート1,479枚、仮設トイレ53個
- ・4月18日 17:00 九枝より支援物資被災地配布
飲料水2L×9,110本、カンパン等660食、ブルーシート693枚、ブルーシートロール10本、仮設トイレ70個

○4月16日15時より、「海輝」、「海煌」により熊本港内フェリーターミナル近くにて、飲料水提供。
（累計1,289人、26,500L※4月18日17時現在）

○他地整からの緊急支援船運搬状況（4月18日17時現在）

- ・北陸地整
支援船 白山（飲料水約300t、食料、医薬品、衛生用品）
新潟港 4/18 16時15分発 → 4/21 熊本方面到着予定
- ・中部地整
支援船 清龍丸（飲料水約150t、ペットボトル0.5L×約2万本、食料×約2,700食、毛布 等）
名古屋港 4/18 10時00分発 → 4/21 熊本方面到着予定
- ・中国地整
支援船 おんど2000（飲料水2L×1,242本）
呉港 4/18 7時50分発 → 14時15分 別府港着 陸路搬送
支援船 りゅうせい（飲料水2L×300本、食料約2,000食）
広島港 4/18 14時00分発 → 17時30分 別府港着 陸路搬送
- ・四国地整
支援船 いしづち（飲料水1,500本）
松山港 4/18 8時05分発 → 15時00分 別府港着 陸路搬送
支援船 くるしま（飲料水1,800本）
松山港 4/18 8時10分発 → 15時15分 別府港着 陸路搬送

9. 国管理道路の情報

【通行止め区間】

○熊本県

- ・国道57号 81k100付近 阿蘇郡南阿蘇村 土砂崩壊 [熊本河川国道]
- ・国道210号 日田市天瀬町大字合田～玖珠郡玖珠町大字戸畑 [大分河川国道]

※ 落石の感知センサーが異常を示し、落石の恐れがあるため

10. 所管施設の状況

(1) 国管理道路

1) 国道57号 異常

- ・ 光ケーブル切断 (南阿蘇村 立野付近)
- ・ 阿蘇市永草 74k900付近上り 路面亀裂 応急復旧完了
- ・ 大津町引水 91k500付近 引水跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 南阿蘇村立野付近 83k700付近 立野跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区長嶺町 113k300付近 託麻跨道橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区御領 103k770付近 東原橋 橋梁損傷 規制必要なし
- ・ 熊本市東区神水本町 111k360付近 段差 応急復旧完了

(2) 国管理河川

- ・ 緑川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 白川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 菊池川 堤防天端にクラック等を確認
いずれも応急対策は完了
- ・ 緑川ダム 舗装のひらき等を確認
応急対策は完了

(3) 港湾

管内の港湾については、熊本港において一部利用制限があるものの、他の港はほぼ通常通り利用可能となっている。

- ・ 熊本港 (熊本県) 島内の臨港道路・駐車場：段差があり、車の通行不可のため、迂回路を確保。(復旧の対応策を検討中。)
岸壁エプロン部沈下 利用上問題無し。
- ・ 八代港 (熊本県) 岸壁エプロン部クラック 利用上問題無し。
- ・ 別府港 (大分県) 液状化、目地の開き 利用上問題無し。

(4) 空港

熊本空港(熊本県) 空港基本施設 運用に支障なし。(但し、空港ビルディング 建築被害)

(5) 官庁施設

16の官庁施設について、被害を確認。

熊本市からの要請により、熊本地方合同庁舎A棟が熊本市の緊急避難施設に指定された。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部 広報班

電話:092-414-7301(本部直通) FAX :092-481-9210(本部直通)

【参 考】

リエゾン(災害対策現地情報連絡員)とは

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするもの。

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

■目的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧